

日本共産党 石田 秀三 議員

債権管理条例の運用について

(質問) 市税とその他の債券の未収金の徴収業務を一元的に行う債権管理条例が制定・施行されて、約3年が経過した。納税課の中に債権回収対策室が置かれ、回収事務が進められているが、その現状と、生活困窮などにより徴収困難とされたものの処理について。滋賀県野洲市では、滞納を解決することと併せて、生活困窮状

態から抜け出して生活再建を支援する仕組みを作っている。本市でもそのような仕組みを検討すべきではないか。

(答弁) 税外債権の回収事務を移管することにより、所管課の職員の意識の変化もあり、効果があったと考えている。生活困窮で徴収困難な場合は滞納処分の執行を停止している。税を含んだ総合的な生活相談については、既存の各部門がより連携できるように取り組んでいきたい。

その他の質問 ○社会福祉センターについて

自由民主党 矢野 仁志 議員

学校教育のあり方について

(質問) 学校教育においては、正しい歴史観、宗教観、道徳観が重要であると考えているが、現状は。

(答弁) 文部科学省から示される学習指導要領に基づき、教育活動を進めている。

日本の歴史に対する理解を深め、歴史に対する愛情を育てるとともに、郷土への誇りと愛着を培う取り組みや子どもたちが異なる文化や習慣を認め合い、社会を共に生きていく力を育む

取り組みを進めている。

また、様々な道徳的価値を実践へと結び付けていくために、「考え、議論する道徳」へと授業を転換することが大きな改善点であり、子どもたちが将来、様々な問題に出会った際、その状況に応じて自己の生き方を振り返り、主体的な判断に基づいて、道徳的に実践することができる力を育てていく。

その他の質問 ○児童家庭支援センターの設置について
○緊急時における道路確保について
○公立保育所の体制について

鈴鹿の風 明石 孝利 議員

時代を捉えた新たな産業振興策を

(質問) 鈴鹿市ものづくり産業支援センターは、設立して10年が過ぎようとしている。設立当初は時代の流れを捉えた先進的な産業振興策であり、これまでの成果は素晴らしいものがあるが、11年目を迎えた今日、新たな産業振興策として、ビジネス・サポート・センター、いわゆる“ビズ”機能を取り入れるべきである。これまでの製造

業中心から、今日の中小企業が求める経営相談や商品開発、販路開拓など、業種を問わず、幅広い分野での要求に応えるビズ機能を、現在の特色ある同センターに取り入れ、全国に類のない「スズカ・モノ・ビズ」を立ち上げてはどうか。

(答弁) 中小企業の幅広い要求に応え、売り上げ増につなげているビズ機能は、本センターの手薄な分野であり、成果を上げている先進地の調査研究を進める。

その他の質問 ○高齢者運転免許証返上への対応

市民クラブ 大西 克美 議員

タバコ税、約14億円強の用途について

(質問) タバコ税を、国保税の赤字対応になぜ使わないのか。また、市職員の分煙室を設置してはどうか。

(答弁) 市たばこ税については、「一般財源」としてその使い道を特定せず、ごみ収集やインフラ整備、災害対策、福祉、教育にかかる経費など、本市の市民サービス全般に広く使っている。国保への財政支援として、一般会計から法定外の

繰り入れを行うことは、国保加入者以外である被用者保険の方などにも負担が生じる。平成30年度の国保の広域化による財政支援の影響や本市の財政状況を見極めるとともに、被保険者の負担感や国保加入者以外の方との公平性にも十分配慮しながら慎重に検討していきたい。

また、公共的空間においては、分煙から施設内禁煙という社会情勢を踏まえ、市職員が率先して受動喫煙防止に努めているところで、喫煙室の設置は考えていない。

その他の質問 ○残業ゼロへの取り組み強化について